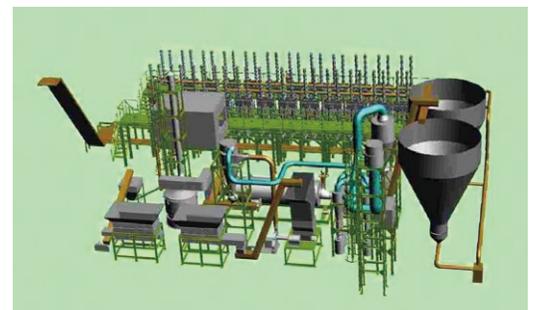
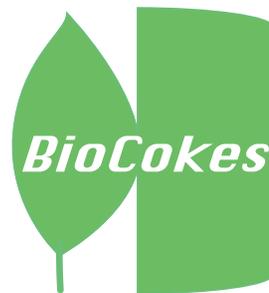


# 大阪府森林所有者協会通信

2010.5 Vol.18

## 新たな“ヤマ”と“マチ”の関係構築はじまる



### Contents

コンクリート社会から木の社会へ……………	2	境界を明示して森林整備を促進……………	6
大阪府からのお知らせ……………	2	『飢肥林業』……………	7
外国企業による森林買収に関する情報の収集について……………	2	事務所移転のお知らせ……………	7
地域産木材を使った長期優良住宅への取り組み……………	3	緊急雇用対策事業で森林整備……………	7
組合員様限定 製材品を特別価格にてご提供 ……	3	大橋慶三郎氏著「林業人生を語る」が出版されました……………	8
皮むき丸太買取ります! 備蓄できる方募集します ……	3	林業技術・安全作業講習会のお知らせ……………	8
特集 これからの大阪の林業 ……	4・5	木材市況……………	8
天然林を荒廃させるカシノナガキクイムシ……………	6	日々活躍 組合職員紹介……………	8
枚岡公園が高い利用者満足度を獲得しました……………	6		

# コンクリート社会から木の社会へ 木材自給率50%、低炭素社会の実現 〜森林・林業再生プラン〜

戦後植林した人工林資源が段階的に伐期を迎えているものの、路網整備や集約化の遅れから生産性が低く、材価が低迷するなど、森林所有者の林業への関心は低下しています

一方、世界的な木材の需要の増加、低炭素社会づくりの動きなどを背景に、木材利用の拡大に対する期待も高まっています。

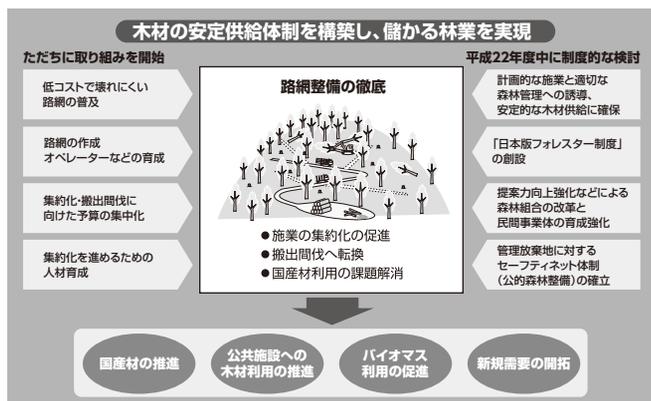
このような状況を踏まえ、森林・林業再生プランは、国において今後10年間の間に、路網の整備、森林施業の集約化及び人材育成を軸として効率的かつ安定的な林業経営の基盤づくりを進めるとともに、木材の安定供給と利用に必要な体制を構築し、森林・林業を早急に再生していくために作成されたものです。

同プランは①森林の有する多面的機能の持続的発揮②林業・木材産業の地域資源創造型産業への再生③木材利用・エネルギー利用拡大による森林・林業の低炭素社会への貢献の3つの基本理念の下、木材等の森林資源を最大限活用することを目的としています。

併せて雇用・環境にも貢献するよう、我が国の社会構造をコンクリート社会から木の社会へ転換することとしており、現在23%にある自給率を10年後に50%以上を目指すことが盛り込まれています。

本プランの進捗に関わり「ただちに取り組むべき項目」と「平成22年度中に制度的な検討」を行うものとを仕分けし段階的にプラン

の進捗を図るとしてまいります（左図参照）。



さらに、推進体制として農林水産大臣を本部長とする「森林・林業再生プラン推進本部」を設置。また推進本部の下に、「森林・林業基本政策検討委員会」「路網・作業システム検討委員会」など、5つの検討委員会を設置し検討結果を適宜推進本部に報告することで本プランを着実に推進するものとしています。

大阪府森林組合としても本「森林・林業再生プラン」の検討状況を注視しつつ、現在、進めている森林整備加速化・林業再生事業を活用し、おおよそかの森林の多面的機能の発揮と組合員への利益還元のために努力してまいります。

## 大阪府からのお知らせ 山地災害から暮らしを守る 「治山事業」

「治山事業」は治山ダムや森林整備により、良好な森林を維持することで山地に起因する自然災害を未然に防ぎます。

かつて大阪の森林は、薪炭の供給や戦中戦後の過度な伐採により荒廃し、木のない山が多くみられました。みどりを失った山からは土砂が流出し土石流を引き起こすこともあり、尊い人命や財産が失われていました。その対策として山に木を植え、谷に堆積した土砂を治山ダムで固定するなど治山



昭和初期の山（泉南）



植林作業（泉南）

事業を実施した結果、現在では森林が再生され、大規模な土石流などの発生は少なくなっています。しかし、府内では依然として梅雨前線による豪雨や台風等により毎年のように山崩れなどの土砂災害が起きています。大阪府では災害の復旧や、災害から人命や家屋などの財産を守るため、次のような治山事業を実施しています。

**災害復旧事業**  
災害の発生した森林に治山ダムや山腹工事を行い被災箇所を復旧します。

**災害予防事業**  
災害の発生がある荒廃森林で、治山ダムの設置や、森林整備を行うことにより災害を未然に防ぎます。

**森林整備事業**  
荒廃した森林において、森林整備を実施し、森林の持つ水源かん養などの機能を高め、災害を未然に防ぎます。



災害復旧事業



災害予防事業



森林整備事業

- 治山事業を実施するには事業は大阪府が実施します。
- 事業を実施する森林は保安林の指定が必要です。
- 事業の実施にかかる負担金はありません。

### 治山事業に関するお問い合わせ先

各農と緑の総合事務所緑地整備課  
 (北 部) 三島府民センター内  
 072-627-1121 (代)  
 (中 部) 中河内府民センター内  
 072-994-1515 (代)  
 (南河内) 南河内府民センター内  
 0721-25-1131 (代)  
 (泉 州) 泉南府民センター内  
 072-439-3601 (代)

## 外国企業による 森林買収に関する 情報の収集について

木材価格の低迷や林業従事者の高齢化など林業を取り巻く環境は、依然として明るい話題が乏しい中で、さらに日本の林業を脅かす事件が西日本を中心とした各地で起こっています。

某県では一昨年の冬、外国企業関係者が町役場を訪れ、ダム湖上流の水源池である1,000haの森林を購入したので、その仲介を町役場に依頼しました。町役場としては「水源池なので開発しないでほしい」と伝えると、その後、連絡が途絶えたそうです。

類似の事例は他県でも発生しており、水源池を大規模に買収しようとする動きのあることが明らかになっていきます。

日本国内の森林資源や水資源をビジネスの対象として捉えている外国企業が森林を購入した場合、「国内の森林資源や水資源管理が困難になり、国土保全に大きな影

響を及ぼすことも予想される」と指摘する有識者もいます。このような事態を深刻に受け止める、林野庁では都道府県を通じて外国資本の森林買収に関して情報の収集・報告体制の強化を図ることになりました。

日本の森林は先人の手で植えてられてきた、かけがえのない資産であり、今を生きる我々の手で後世につなげていく責務を負っているといっても過言ではないと思います。

組合員の皆様が、このような情報を得られた時は、森林組合までご連絡いただきますようお願いいたします。



この美しい森林を次代につなげるために

# 地域産木材を使った 長期優良住宅への取り組み

## 地域資源活用型対象住宅でさらに有利に

お問い合わせ

建築事業部

01200(630)854

http://www.sinrin.org

昨年より取り扱いを開始している「長期優良住宅」について、住宅メーカーが取り組みを開始するなど、今後、ますます裾野の広がりが予想されます。

当組合でも様々な媒体による情報発信や営業活動の結果、1件の成約を得ることができ、本年2月に住宅の引き渡しを完了しました。引き渡し前に施主様のご好意により見学会を催したところ、寒さ厳しい中ではありましたが、2日間で21組51名のお客様にお越しくださいました。盛況な見学会となりました。



## お客様の声

### 松原市N様邸

今年の1月に竣工し、初めての冬を過ごしました。以前は毎年、結露に悩まされていましたが、新しい家は結露もなく、非常に快適に過ごせました。やっぱり高気密・高断熱の家ってすごいですね。蓄熱暖房機で全室18℃以上に保たれているので、朝起きるのも苦になりません。

ただいています。

また木材の産地証明がなされている木材を使用した住宅を対象に「地域資源活用型対象住宅」という制度が開始されました。

これは通常の長期優良住宅の助成金に加え20万円上乘せされて120万円になるなど、国産材はもとより地域産材の利用促進につながることから、当組合でも情報発信を行っていかうと考えています。

### 【地域資源活用型対象住宅】

所管行政庁による長期優良住宅建築などの計画の認定を受けた住宅に加え、産地証明（都道府県認証または森林認証、合法性木材のうちいずれか）がなされた木材を構造材（柱・梁・桁・土台）の過半に使用している住宅を対象とする。



上記助成金に加え、税制優遇や住宅ローン減税が受けられます

## 皮むき丸太買取ります！ 備蓄できる方募集します

当組合では大阪府や市町村に対し、公共事業における府内産木材の利用をお願いしています。

大阪府としても公共事業での府内産木材利用を推進していただいているものの、需給時期のズレから特に皮むき作業等が困難を極め、場合により供給できないというケースもあります。

つきましては、組合員の皆様で皮むき丸太を備蓄していただき、組合がそれを買上げる下記のようなシステムを構築して1本でも多くの府内産木材供給を実現させたく、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



府内産木材利用の推進のために

### ○皮むき丸太備蓄供給方法

皮むき丸太の出荷可能時期と備蓄可能数量（見込）をお知らせください。受注状況にあわせ、買取らせていただきます。

#### 1.皮むき丸太規格(スギ・ヒノキ)

末口9cm (8～10cm) 長さ1.5m～2m

末口11cm (10～12cm) 長さ1.5m～2m

その他の規格は、お問い合わせください

#### 2.買取価格例(組合施設までの運搬を含みます)

末口9cm 230円～

末口11cm 290円～

#### 3.数量

各1000本程度

#### 4.納期

平成22年10月から平成23年3月ごろ

#### 5.お問い合わせ・お申込み

木材共販所(0721-72-7755)もしくは、豊能支店(072-734-0125)までご連絡ください。



色艶が美しいスギ材

このたび大阪府内産木材を製材・加工する施設「ウッドベースかわちながの」より、フロアリングや腰壁などのリフォームにお使

いただいた製材品を特別価格で提供をさせていただくことになりました。「ウッドベースかわちながの」では中低温の強制乾燥機と、特殊加工を行うことができるモルタルを使用して、色艶が美しい製材品をお届けします。

製材品のみのご購入だけでなく、施工についても組合で承りますのでお気軽にお問い合わせください。

ぜひ、この機会に建築材料として評価の高い「大阪府内産材」をご自宅に使ってみませんか？

お問い合わせ  
ウッドベースかわちながの  
0721-69-0240

## 組合員様限定 製材品を特別価格にてご提供

### 内装のちょっとしたリフォームで木の香り漂う空間に

### 価格表

種別	等級	仕上り	用途	規格 (mm)			組合員様特別価格(1枚当り)
				長	巾	厚	
桧	1等(節有)	・KD(人工乾燥) ・本実モルダ一仕上 ・抜節埋木補修	フロアー 壁材	4,000	働巾 90	15	通常2,830円を <b>2,250円</b>
杉	上小節(ほぼ節無)	・KD(人工乾燥) ・本実モルダ一仕上	フロアー 壁材	4,000	働巾 105	15	通常3,150円を <b>2,520円</b>
杉	1等(節有)	・KD(人工乾燥) ・本実モルダ一仕上 ・抜節埋木補修	フロアー 壁材	4,000	働巾 115	15	通常2,200円を <b>1,760円</b>
杉	1等(節有)	・KD(人工乾燥) ・本実モルダ一仕上 ・抜節埋木補修	フロアー	4,000	働巾 175	30	通常4,270円を <b>3,410円</b>

※運搬費無料、消費税込み。  
※特別価格につき10月末までのご注文とさせていただきます。  
※ご提供に当りましては加工詳細の打合せをさせていただきます。

# 森林整備事業

森林は地球温暖化防止の観点から温室効果ガスとされる二酸化炭素の吸収源という公益的機能が見直され、京都議定書の約束期間が発効したことも相まって、国において主に間伐を中心とした森林整備に対する事業や予算が大幅に増加しています。

大阪府でも周辺森林の保全・再生を目指した取り組みを、今以上に推進させるため、国の経済対策事業である「森林整備加速化・林業再生事業」を活用し、平成23年度までの3カ年で集中的に森林整備及び木材搬出を行うための路網整備などをはじめとする事業を開始しました。

当組合では大阪府内での間伐施業地面積の確保と林内路網の整備を行った結果、通年の約900haの森林整備に加えて、さらに320haの間伐施業と3000mを超える路網整備を行いました。路網が整備されることで、切り捨てが中心であった間伐材の搬出が可能となり、かねてより推進していた機械化林産との組み合わせにより、搬出コストの低減にもつながっていきたくと考えています。さらに、いち早く機械化林産に取り組んでいた木材総括本部に加え、今年度からは三島支店でも高性能林業機械を整備し、機械化林産に着手しており、北部及び南部の2拠点で効率的な木材搬出に向けた取り組みを進めます。併せて搬出した木材の利用方策について、新たに合板やパルプ用チップ、燃料など、付加価値の高い木材利用に向けた取り組みも行います。

間伐施業を中心とした事業（森林整備加速化・林業再生事業）は平成23年度で終了予定であり、それ以後の施業に関する国の方針については全くの白紙状態です。当組合としても事業終了までに、特定事業に頼ることのない森林整備から木材生産及び木材利用に至る流れを構築する必要を感じています。



作業路網整備の推進

この流れを作り上げるには組合員の方々のご理解とご協力が不可欠であり、今後、様々な機会を通じて取り組みについてのご説明をしたいと思います。

# 木材加工・建築

当組合の建築事業部が設立されて5年以上が経過しました。その間、新築・増改築を含めると200世帯を超えるお客様の暮らしを支える「柱」として、大阪府内産材の流通に関わってきました。建築事業部は単に住宅づくりの部門ではなく、今までも、また、これからも消費者に直接、大阪府内産材をお届けするセクシオンとして、そのことを第一に考えながら、結果として、お客様に喜ばれ

る住宅づくりを進めてまいります。そのためには林産事業や製材部門とも密接な関係構築を行うとともに、消費者ニーズの把握と、その声を現場へフィードバックする役割を果たすことが重要です。特に「長期優良住宅」への取り組みは、大手住宅メーカーでも長期優良住宅の仕様がラインアップするなど標準化への方向に進みつつあり、当組合としても木材の生産から加工まで組合が関わる地域

の木材で建てる長期優良住宅という他にはないアピールポイントを前面に出して、積極的なPRを行う予定です。木材をふんだんに使った住宅であれば1軒で40㎡程度の木材利用につながることに、また長年、丹精こめて育てた木を、その時間を超えて住宅を支える「柱」として利用できる長期優良住宅の取り組みを今後、より一層進めていきたいと考えています。



骨太な構造材が住宅を支える



# O&Dウッド

木材を屋外で使用する場合、腐朽や蟻害などから守るため防腐加工するのが定番となっています。ただ防腐剤の性能は日々向上するのですが、木材の個体差により防腐剤が均一に注入できないことがあり、その結果、防腐効果の低下を招き、屋外における木材の長期間利用を阻害する原因にもなっていました。

木材を屋外資材として利用する場合の「腐る・長持ちしない・高価」というイメージを払拭し、木材利用の可能性を拡げるのが、コシイプレザービングが開発した「O&Dウッド（Out Door Wood）」

です。

深浸潤特殊木材加工の総称が「O&Dウッド」であり、代表的な加工手法として丸棒の圧縮加工があります。これは丸棒を八角形に圧縮した後、通常の防腐剤加圧注入加工を施すことで、木材に均一に防腐剤を注入することが可能となる技術です。

また「O&Dウッド」は外部保証会社による10年保証を実現するなど、屋外使用の木材としては画期的な製品となっています。当組合では豊能支店が生産する丸棒を対象に同社と協力体制を構築し、企画・設計・アフターフォローなど組合では対応できない部分を担当してもらうなど共同して「O&Dウッド」の提案営業を行った結果、一昨年度より出荷実績を大幅に伸ばしています。

昨年度、最も多く使用されたのが大阪府発注の谷止め工と呼ばれる治山資材です。谷止め工は1基あたり丸棒（φ120が中心）の使用量が20㎡程度という多量の木

材を使用します。

木材にとっては流水にさらされ、水位の変動が日常的に起こるといふ過酷な環境にもかかわらず井桁に組まれた「O&Dウッド」が治山施設をしっかりと支えています。

また10年保証という強みを生かして景観資材の分野にも新商品を開発して打ち出すとともに、これからは土木の分野にも積極的なPRを行い、より大規模な施設の木

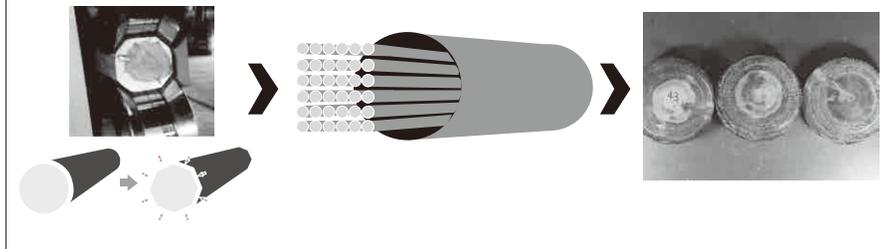


大阪府発注の治山施設

材利用が図られるよう、ニーズの把握に努めていきたいと考えています。

## O&Dウッド加工フロー

圧縮加工 → 防腐剤加圧注入加工 → 完成



# 森林整備からの林業利用

# 機械化林産事業

木材総括本部で取り組みを進める機械化林産事業は、河南町から和泉市までの南河内地域の森林をフィールドに、平成21年度には約1,300mを超える木材搬出を行いました。

今後、平成23年度まで実施される森林整備加速化・林業再生事業をはじめとする間伐施業及び路網整備の補助金をうまく活用しながら、木材価格と需要の低下などの諸要因を克服し、森林所有者の方々への利益還元を第一義に考えた機械化林産事業の確立を目指します。

コストを抑えた木材搬出作業とともに、小径木やチップ用材をはじめ用途が決まっている木材は山土場から納入地への直送を行うなど、木材搬出以外の部分でも効率化を進めることでコストを抑え、木材利用につながる取り組みを行います。

これらにより成熟期を迎える河内林産地の木材を安定的かつ利用しやすい形で消費者の手に届けるために努力したいと考えています。

一方、三島支店でも高槻市内の森林を中心とした機械化林産を行うため高性能林業機械を導入し、平成22年度から本格的な林産に取り組みます。

すでにレンタル機械を使用しながら、平成21年度からは高槻市から委託を受けた「ふるさと緊急雇用対策事業」を活用して林産を行い、歩掛や出材量など各種データを収集しており、平成22年度からは、それらのデータを生かしながら機械化林産事業を展開する予定です。弱齢林が多い高槻市を中心とす



活発化する機械化林産事業

# 林産と

# これ大阪

# 木材

特集

北摂地域の森林の現況から、出材される木材を有効利用するため、以前にもご紹介したバイオコークス原料に着目しています。

バイオコークスの原料としての木材に求められるのは樹皮の一定割合の含有です。それは弱齢林に見られる小径木の幹と樹皮の割合に符合し、まさに三島地域の森林資源を有効活用させるのに適した製品です。また樹皮の比率を高めるために枝条も必要となりますが、搬出方法の検討が必要となりますが、未利用資源の有効活用につながります。

三島地域の林産事業はバイオコークスの原料とするため年間4,000m程度程度の木材搬出が求められています。平成22年度には高性能林業機械を追加導入し、さらに効率化と技術の向上を目指します。しかし何よりも林産現場の確保が必要となりますので、地域の組合員の方々のご理解とご協力をお願いいたします。

# チップ

森林整備加速化・林業再生事業では川下側への事業の幅も広く、木材によるヒートアイランド現象抑制効果を解明する研究や新たな木材利用方策の開発、公共性の高い木造建築物への補助などとともに木質資源の運搬費用補助というメニューが用意されています。

当組合では合板やパルプチップを取り扱う企業への原木及びチップの運搬などに、このメニューを活用する計画であり、一部の企業とは既に基本協定を締結しています。

近年、パルプ原料として国産の針葉樹チップを使用するケースが増加しており、今回の事業で府内産材のパルプチップ利用への諸条件の整理と可否を見極め、確立可能であれば本事業終了後の継続も視野に入れて取り組んでいきたいと考えています。

このように木材チップの新たな活用方策が見出されており、組合が扱う木材製品だけでなく、オガ粉、プレナー屑や木端など、ゴミとして処理していたものにも目を向け、資源化とともに付加価値化を目指します。

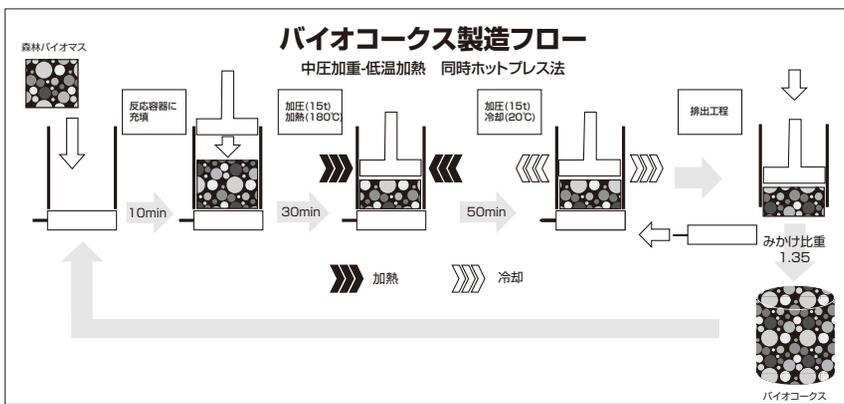
# バイオコークス

以前にもバイオコークスについては、記事として取り上げたことがあります。簡単にご説明させていただきます。

バイオコークスは光合成を行う植物という幅広い原料から製造される固形燃料であり、近畿大学の井田准教授が開発し、バイオオマ燃料として、これまでにない大きな需要量が期待できる鉄鋼分野への適用が世界で初めて可能と確認された技術です。

その製造工程は比較的シンプルで、破碎・乾燥させた原料を反応筒に充填し、加圧(20MPa)・加熱(約180℃)の後、冷却を行うことで成型します。

この製造過程における使用エネルギーがとて少ないことが特徴の一つです。



その過程を経て製造されたバイオコークスは非常に高硬度であることも大きな特徴です。石炭コークスの代替として高炉などで利用する場合、鉄の原料などの重量に耐えることが要求されますが、森林資源を用いたバイオコークスでは、石炭コークスを上回る硬度とすることも可能と実証されています。

また原料の質量を変化させない温度帯での反応を成型に利用しているため、反応筒に投入した100の原料から100のバイオコークスを作ることができます。

そして林業の立場からの最大の特徴は枝条や樹皮といった今までほとんど未利用であった森林資源が原料として使用できることです。これにより森林資源の新たな付加価値として位置づけることができるとも、今までは未利用であった

そこでも当組合では導入した高性能林業機械を活用し、施業の集約化を実践しながら、今まで以上にコストを抑えた木材搬出手法の確立とともに、今までは未利用であつ



未利用資源の有効活用

た枝条などの搬出方法の研究を行っています。

それらを踏まえて豊富な森林資源を原料にしたバイオコークス製造の研究・実証を進めるため、高槻市の多様な協力をいただき、農林水産省所管の「地域資源利用型産業創出緊急対策事業」にエントリーした結果、見事バイオコークス製造に関わる事業が採択され、平成22年度より各種の実証事業とともに製造プラント設置に向けた事業に着手します。

現在、日本の石炭コークス市場は中国などからの輸入が一定量を占めており、価格動向も不安定な状態が続いているそうです。資源の乏しい日本で、膨大な資源量を誇る森林資源を用いた新たな燃料製造技術には業界の枠を超えて注目が集まっています。

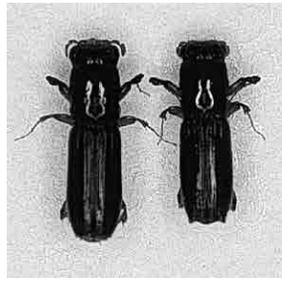
この事業を活用しバイオコークスの原料調達から製造、販売までの流れを構築して、新たな森林資源の利用方策と新たな燃料製造の確立を目指していきます。



バイオコークス

# 天然林を荒廃させるカシノナガキクイムシ

全国的に「ナラ枯れ」が拡大しつつあり、その原因は「カシノナガキクイムシ」という体長4〜5mm程度の甲虫です。



カシノナガキクイムシ  
(左：♀、右：♂)

その甲虫が産卵のため樹木に侵入した際、この甲虫に共生するカビ菌の一種が樹体内に広がり、通水機能が低下して8〜9月ごろ、枯れ葉をつけたまま立ち枯れます。「カシノナガキクイムシ」は枯死した樹体内で越冬し、翌年に別の健全な樹木に移っていき被害を拡大させるのです。

近畿では清水寺で有名な歴史的風土保全地区に指定されている京都東山周辺の国有林がナラ枯れの被害を受けています。

これまで大阪府内で被害は確認されませんが、昨夏、高槻市梶原地区で100本近いナラ類の木が立ち枯れているのが発見され、さらに同市内やその周辺でも「カシノナガキクイムシ」の被害が確認されました。

被害を受けた森林は景観上好ましくないことや多様な動植物生息への悪影響、主たる樹木が同時に損なわれることによる森林の保水力や土砂流出防備機能の低下が懸念されます。

大阪府では、すべての被害木を対象にした駆除を実施することを決定し、当組合が事業主体として

被害の拡大を防ぐための作業を行いました。



駆除作業（玉切り〜集積）

作業方法は伐倒した被害木を短く切った（玉伐り）ものをコンバクトに集積して、薬剤を散布。薬剤が拡散しないように素早くシートで梱包して数週間放置し、内部の「カシノナガキクイムシ」を駆除するものです。

この作業の効果は今夏、明らかになるとは思いますが、被害が拡大しないことを願わんばかりです。



駆除作業（集積〜梱包）

「カシノナガキクイムシ」の生息は昔から全国各地で確認されており、比較的、太くなったナラ類樹木は繁殖に適していると知られています。

被害が顕著になったのは、以前は天然林においても薪炭材を採るために一定まで成長した樹木は伐採搬出されていたのが、燃料革命

により手入れが行われず、樹木が高齢大径化したためとも言われています。

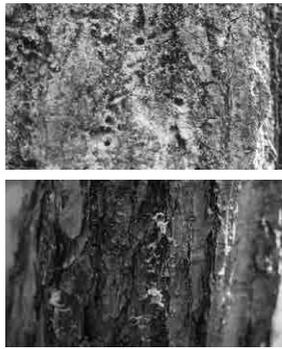
人工林はもとより天然林においても伐採利用することが景観や防災など環境的に優れた健全な森林の育成につながることを示唆しているようです。

当組合が以前より取り組んでいるベレットなどの燃料製造はそのような伐採材の有効利用に最適です。現状では採算的に困難ですが、間伐材の林産事業と併せて、天然林の広葉樹材の活用も将来取り組むべき課題になる時代が来るかもしれません。

ナラ枯れと思われる被害木を発見したら、最寄りの（大阪府）農と緑の総合事務所もしくは森林組合にご連絡ください。



地際に堆積したフラス（木くず）



カシノナガキクイムシの穿入孔  
(上：ミスナラ、下：コナラ)

被害木の特徴：樹幹に1mm程度の多数の穴があり、根元には穴からこぼれたフラス（木くず）が散乱している

## 枚岡公園が高い利用者満足度を獲得しました

当組合が指定管理者として管理・運営する枚岡公園を含む、府内18公園において大阪府が実施したアンケート調査の結果が公表され、枚岡公園が利用者満足度で高い評価を受けました。

このアンケートは平成21年秋に来園した利用者約100名に対して行ったもので、「みどりの景観づくり」「花による景観づくり」「安心・安全の公園づくり」など

6項目と、それらを総計した「総合満足度」により府内18公園の順位付けがなされています。その中で枚岡公園は5項目で1

位となり、総合的な満足度平均で堂々1位に輝きました。

同公園では、当組合が指定管理者として管理・運営を始めた平成18年春の段階では総合的な満足度が最下位でしたが、枚岡公園を担当するスタッフが利用者へ喜ばれる公園管理を行った結果、このような利用者の声で証明されたものとして受け止めています。

この結果に驕ることなく、これからも安全で安心できる公園空間の提供をモットーに公園管理を進めてまいります。



四季の植物を楽しめる枚岡公園

四季のうつろいを演出する、すばらしい公園ですので、ぜひ一度、お立ち寄りください。

## 境界を明示して森林整備を促進

地球温暖化を防止するために代表的な温室効果ガスである二酸化炭素の吸収源として森林が見直される中で、森林整備に要する予算が措置され、全国的に見ても森林整備が進んでいます。

しかし森林所有者の高齢化や経営意欲の低下などとともに、森林整備を阻害するのが不明瞭になりつつある森林境界の問題です。

この問題を解決するためには森林の地籍調査を行い、所有者立会いの下、境界を明示することが必要となってきました。

すでに大阪府内では高槻市域において当組合が事業主体となり地籍調査事業を進めています。さらに範囲を広げ、地籍調査への理解を深めてもらうための講習会を

大阪府及び大阪府森林組合が主催し、南河内地域の組合員を対象に3月23日に開催しました。

当日は地籍調査の概要を映像で分かりやすく説明しながら、(社)全国土調査協会の小笠原理事より基調講演、弁護士の高原安三郎氏による相続セミナーのほか高槻市域での地籍調査の実例を紹介するという内容の濃い講習会となりました。

また出席した組合員の方々からも多数の質問や意見が出されるなど、所有されている森林をきっちり管理し、後世につなげていくための手段としての地籍調査に対する興味の高まりを感じることができました。

しかし地籍調査事業を推進するためには、地域住民の熱意は無論のこと国・府・市町村の予算的措置が必要です。

地籍調査は迅速に進めるべき事業との位置づけをされているものの、森林に限った事業ではなく、



活発な意見が交された講習会

また国・自治体とも緊縮財政の中で一定の金額及び期間が必要な事業への予算配分は、すぐにできるものではありません。当組合としても組合員の方々のニーズを把握しながら、地区林業推進協議会などを通じて、地元からの要望を提出するなど予算確保に努めていきたいと考えています。

# 『優良なオビスギの一大生産地』

大阪から約600キロ、九州は宮崎の最南端、青い海と緑の山に囲まれた自然豊かな地域に南那珂森林組合があります。

この地域の1年を通して温暖な気候は生物の生長には適しており、宮崎の県木にもなっている「オビスギ」は比類なき成長を見せています。



優良なスギ材を生産する「飼肥林業地」

この地域で行われてきた飼肥林業の歴史は古く、起源は400年前、現在の日南市にあたる飼肥藩の財政を賄うために、林野に植林したことが始まりとされ、独特な分収林制度である「二部一山の法」を用いることで、人工林率は飛躍的に高まりました。現在は南那珂管内の山林65,000haのうち、73%が人工林であり、その90%以上をオビスギが占めています。

オビスギの特徴は、油分が多く腐りにくい、成長が早く強靱で軽という性質があり、主に船材としての用途で利用されました。植栽の方法は「とにかく幹を太くすること」に主眼が置かれ、土地の養分を1本の木に与えるために、1,000本/haという極端な粗植と間伐、枝打ちを行わない手法を取っていました。

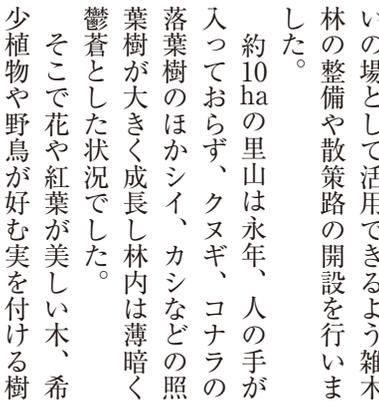
その代わり下草を10年以上も刈ることで、ひたすら肥大成長を図ることで精算されたスギ材は「弁甲材」と呼ばれ、瀬戸内海や韓国に輸出され、南那珂の大きな経済源となっていました。ところが船の材料が木からFRPへとシフトしていくと、オビスギの需要は無くなっていききました。住宅用建材として利用を試みるも、大径木を挽く製材工場がないうえに、肥大成長のため木目が粗い、枝打ちをしていないため節が多い、油分が多いため色黒いなど、今までメリットであった部分がデメリットとなり、困難を極めました。

そのような中、当組合では「まずは林業形態を見直そう」ということを掲げ、さまざまな取り組みを開始しました。通直な木材を生産する概念が無いため、当初は「なぜそんなに植えないか、いけなないのだ」「せっかく植えた木を間引くなんて」といった声が多く、批判も多かったのですが、座談会などによる地道な啓発活動のおかげで、やっと2,500〜3,000本植栽と切り捨て間伐が浸透しました。



いち早く機械化による林産に着手

伐は悪である」といったことも論じられていますが材価が10,000円/mの現在、森林所有者の利益を確保するには、まとめて伐らないと希望した収入を得ることが出来ないのも実情です。利用



平成15年、串間市内に両組合の友好組合締結を記念して造成した「友好の森」。その中の「大阪の森」に植樹したオビスギも旺盛な成長を見せている

伐は悪である」といったことも論じられていますが材価が10,000円/mの現在、森林所有者の利益を確保するには、まとめて伐らないと希望した収入を得ることが出来ないのも実情です。利用

現在ではオビスギのメリット部分で建築業界からも注目され、建築用材としての利用も拡大しているところだ。また年輪幅が1年に1cm程度、成長することも珍しくないことから40年程度で皆伐を行う主伐主体の林業という特徴が挙げられます。主伐主体であり、山の傾斜も比較的緩やかなことから、早くから伐採コストの削減を目的とした機械化に取り組み、グラップル・ハーベスタ・フォワーダ・プロセッサといった林業機械と人力で行う伐採を組み合わせた作業の導入を行った結果、現在は年間40,000m<sup>3</sup>の生産を行っています。近年、環境面の配慮から、「主

私たちが、森林所有者としっかり話し合い、森林の現況をしっかりと判断し、経済面、環境面、双方から分析し、伐って植栽し、循環させる林分と残して育てる林分を判断し、森林所有者にそのときだけではなく、10年、20年を通じて一番利益が出るような提案が出来るようにならねばなりません。近年林業に注目が行き、「儲かる林業」という言葉が取りざたされますが、我々のような「林業団体だけが儲かる」のではなく、「森林所有者が儲かって、そのおかげで林業団体も儲かる」林業を目指していききたいと思えます。

地域は雇用情勢が厳しいことを受け雇用機会を創出するため緊急雇用創出基金による事業が実施されています。当組合でも府内各地で森林整備のため本事業を実施しています。その中でも、大阪府より受託した泉北ニュータウン内にある大阪府立大型児童館「ビッグバン」敷地内の里山再生の取り組みについて紹介します。

同施設は「子供の豊かな遊びと文化創造の拠点」として平成11年にオープンした大型児童施設です。ニュータウンに隣接した貴重な里山をこの施設を訪れる子供達の遊び場として、また地域住民の憩いの場として活用できるよう雑木の整備や散策路の開設を行いました。

約10haの里山は永年、人の手が入っておらず、クスギ、コナラの落葉樹のほかシイ、カシなどの照葉樹が大きく成長し林内は薄暗く鬱蒼とした状況でした。そこで花や紅葉が美しい木、希少植物や野鳥が好む実を付ける樹木を残し、枯損木や景観、眺望を阻害する木を中心にして伐採や枝払いを行い、開放的で明るい森林に変身させました。また伐採した材は園路内に簡易なベンチのほか、急勾配箇所を設置した木製階段や土留工の材料として資源の有効活用を図りました。エリア内にある池や街並みを展望できる散策路は延長が約1,000mと、散歩には丁度良い距離となっており、子供から年配の方まで多くの方に利用して頂けるものと考えています。



快適な散策道を整備

全国には様々な有名林業地があり、それぞれ独自の手法によって林業を営んでいます。今回は友好組合である宮崎県南那珂森林組合 第2事業課長である江藤祐樹さんに、優良なスギ材を産することのできる「飼肥林業」を紹介していただきます。



江藤課長

いち早く木材生産を組合事業の中心に据えた南那珂森林組合が、どのようにオビスギを育て、生産しているのか？ どのような変遷を経て現在のスタイルに到達したのか？ を記載していただいています。

## INFORMATION

### 事務所移転のお知らせ

昨年度、本店及び泉州支店の事務所が移転しました。本店は合併以来、本店事務所を置いていた大阪府農林会館から地下鉄堺筋本町駅に程近い「創建本町ビル」に移転しました。泉州支店は、和泉市いぶき野より和泉市平井町にある「JAいづみの」の一角に移転しました。両事務所のスタッフ一同、新たな気持ちで業務に従事して参ります。本店・泉州支店にお越しの際は、お間違えのないようご注意ください。

本店：大阪市中央区南本町2丁目1番8号 創建本町ビル  
06-4964-0950

泉州支店：和泉市平井町300番地3 (JAいづみの内)  
0725-58-2025

## 緊急雇用対策事業で森林整備

### 大阪府立大型児童館「ビッグバン」

# INFORMATION

## 大橋慶三郎氏著 「林業人生を語る」が出版されました

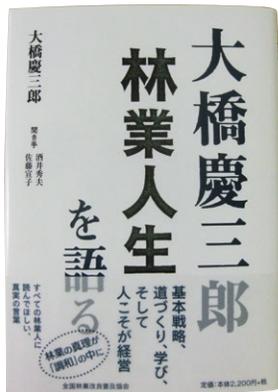
大阪府における指導林家でおられ、道づくりのエキスパートとして著名な大橋慶三郎氏の林業に懸けた人生を振り返った「林業人生を語る（全国林業改良普及協会発行、定価2,310円）」が出版されました。

大橋氏は他では類を見ない高密度路網の提唱・実践者であり、氏が作り上げた山への視察希望は絶えることはありません。大橋氏が先代より山を引き継いで60余年。培った林業技術は無論のこと、経営観・人生観にまでわたる幅広い話題を聞き取り手との会話形式で記述された1冊です。

ぜひご購入ください。

### 【問合せ先】

社団法人全国林業改良普及協会  
東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル  
☎ 03-3583-8461



## 林業技術・安全作業講習会のお知らせ

春と秋に開催しています林業技術や安全作業に関する講習会の日程が、下記のとおり決まりましたのでお知らせします。

今回は、主に安全というテーマに則した講習会となっております。組合員の皆様におかれましては、是非この機会にご参加ください。

準備の都合上、お手数ですが事前のお申込みをお願いします。



前回の林業技術講習の様子

### （講習内容）

- ・下刈作業の危険予知（講師 林材業労働災害防止協会）
- ・蜂にさされた時の対処法（講師 河内長野市消防署）
- ・緊急時、ケガ人の搬送方法訓練（講師 河内長野市消防署）

### （日時）

平成22年6月2日（水）午後1時30分～4時

### （集合場所）

河内長野市立林業総合センター 大会議室  
（お車の方は、花の文化園宮の下駐車場をご利用ください）

### （服装）

実習・作業のできる服装と履物をご用意ください。

### （申込み先）

大阪府森林組合南河内支店  
☎ 0721-63-0850

## 日々活躍 組合職員紹介

今回は豊能支店に勤務する山田一成さんを紹介いたします。

山田さんは合併前の旧能勢町森林組合に1年間アルバイトとして平成9年に採用。その後、測量士をはじめとする国家資格を取得し、改めて職員として採用されました。

公立大学の林学科を修了しており、森林に関する知識と理解度が高く、その知識を生かして現在は能勢・豊能・箕面を管轄する豊能支店の主に造林補助事業を担当しています。

やわらかい印象を受ける外見とはうらはらに頑固な一面も。仕事の進め方で職員同士、意見を戦わせることも少なくありません。

学生時代、部活で野球やテニスといったスポーツをこなす一方で、長くスイミングクラブに属していたスイマー。今では得意の水泳を生かし、トライアスロンに挑戦する組合職員

の中でもトップクラスのアスリートです。

また“私”の部分では第一子の女の子が誕生し、にぎやかな新たな生活が始まる一方で、一家の主としての責任感を持って仕事にのぞむ姿が見られるのではないかと思います。

でも、しばらくは早く家に帰ることも大目に見てあげないといけないかもしれません。



山田一成さん

## 木材市況

ここ最近の木材市への出材量は減少傾向にありましたが、4月8日開催の市には出材量が300㎥を超えるなど活気のある競り売りが行われました。

ただ木材市況はヒノキ元玉の役物優良材が30,000～50,000円/㎥での取引になるなど価格は下落傾向を示しています。

またヒノキ一等材料では長さ3～4m、末口16～20cmの柱用材が13,000～18,000円/㎥、同寸法のスギ一等材料で8,000円/㎥前後と価格は低値安定状況です。

一方で希少価値の高い銘木材については、長さ3m、末口74cmのケヤキが530,000円/本で取引されたケースもありました。

木材共販所の運営は非常に厳しい状況にありますが、引き続き集客に努めて参りますので皆様からのご支援ご協力をお願い申し上げます。

### ■平成21年10月～平成22年3月期 販売実績と平均単価

樹種	取扱量(㎥)	平均単価(円)
スギ	319.3	11,160
ヒノキ	1143.0	22,945
広葉樹	77.6	90,707

### ■平成22年市売り日程表

6月	4日(金)	18日(金)
7月	2日(金)	23日(金)
8月	6日(金)	27日(金)
9月	10日(金)	24日(金)
10月	8日(金)	22日(金)
11月	5日(金)	19日(金)
12月	3日(金)	17日(金)

出材量により市売り日程が変更になる場合があります。詳しくは木材共販所までお問合せください。

（☎0721-72-7755）

## 2010 丸大の夏ギフト

ご贈答には、丸大のハム・ソーセージの詰め合わせをどうぞ。

お問い合わせ先 丸大食品(株) 関西特販営業課  
大阪市西成区津守2-1-10 TEL06-6657-0071

おいしさ新鮮  
omo  
丸大食品